

3. 教育課程に関する事項

《カリキュラム全体の見方》

<授業方法>欄

T：テキスト科目

S：スクーリング科目（対面授業）

M：スクーリング科目（メディア授業）

TS：テキストスクーリング科目

<授業形態>欄

講：講義

演：演習

実：実技or実験or実習

<各要件>欄

卒業要件：卒業するために必要な科目・単位

実習要件：教育実習実施前学期までに必要な科目

資格・教員免許要件：認定心理士や教員免許等を取得するために必要な科目

<資格・免許要件>欄

○：本学において、資格・免許を取得するために必須としている科目

△：選択必修科目

()：認定心理士資格要件上、副次主題のため、修得した単位数の1/2換算を表す

《注意事項》

※所属学部・コースに開講する科目のみ、履修することができます。

※各科目の担当教員や、スクーリング科目の授業方法（対面授業・メディア授業等）は、シラバスや年度始めに提示する開講予定表を参照してください。

※講義概要の変更等により、今後授業方法が変更となる場合があります。

3-1 こども心理学部こども心理学科

3-1-1 カリキュラム構成

●正科生（1年次入学）

科目区分	授業科目	履修年次	授 業 方 法	授 業 形 態	認 定 心 理 士	幼免一種		小免一種		社 会 福 祉 主 事	卒業要件単位数				備考
						実 習 要 件	免 許 要 件	実 習 要 件	免 許 要 件		必 修	選 択	小 計	合 計	
一般教育科目	人 文	哲学	1 2 3 4	T	講								2	一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上 教員免許状取得希望者は、体育実技A又は体育実技Bいずれかの単位を修得すること 履修条件有 (P.70)	
		宗教学	1 2 3 4	T	講								2		
		歴史学	1 2 3 4	T	講										2
		文学	1 2 3 4	T	講										2
		国語表現	1 2 3 4	S	講						2				
	自然科学	数学	1 2 3 4	T	講										2
		天文学	1 2 3 4	T	講										2
		生命科学	1 2 3 4	T	講										2
		脳科学	1 2 3 4	M	講										2
	社会	環境科学	1 2 3 4	T	講										2
		社会学	1 2 3 4	T	講						△				2
		政治学	1 2 3 4	S	講										2
		経済学	1 2 3 4	T	講						△				2
	スポーツ科目群	法律学	1 2 3 4	T	講						△				2
		日本国憲法	1 2 3 4	T	講			○		○					2
		体育実技A	1 2 3 4	S	実			△		△					1
	情報処理科目群	体育実技B	2 3 4	S	実			△		△					1
		レクリエーション論	1 2 3 4	S	講			△		△					2
		健康科学論	2 3 4	T	講			△		△					2
	外国語科目群	情報科学概論	1 2 3 4	T	講										2
情報処理基礎Ⅰ(機器操作を含む)		1 2 3 4	M	演			○		○				2		
情報処理基礎Ⅱ(機器操作を含む)		2 3 4	S	演									2		
英語Ⅰ		1 2 3 4	T	講			△		△				2		
英語Ⅱ		2 3 4	T	講			△		△				2		
英語コミュニケーションⅠ		1 2 3 4	S	演			△		△				2		
英語コミュニケーションⅡ	2 3 4	S	演			△		△				2			
リスニング	1 2 3 4	M	演			△		△				2			
中国語	2 3 4	S	演									2			

科目区分	授業科目	履修年次	授 業 方 法	授 業 形 態	認 定 心 理 士	幼免一種			小免一種		社 会 福 祉 主 事	卒業要件単位数				備考
						実 習 要 件	免 許 要 件	実 習 要 件	免 許 要 件	必 修		選 択	小 計	合 計		
専門教育科目	基礎科目	子ども学	1 2 3 4	T	講							2	12単位	一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上 専門教育科目から92単位以上		
		心理学概論（こころの形成）	1 2 3 4	T	講	○	△		△			2				
		心理学概論（こころの理解）	1 2 3 4	T	講	○	△		△			2				
		乳幼児心理学	1 2 3 4	T	講	○	○		△			2				
		子ども臨床心理学	1 2 3 4	T	講	○	△		△			2				
		子どもの心理学（総論）	1 2 3 4	T	講	(○)	△		△			2				
	基礎科目	教育心理学	1 2 3 4	T	講	○	○	○		○		2	12単位以上			
		青年心理学	2 3 4	T	講	△						2				
		パーソナリティ心理学	2 3 4	T	講	△						2				
		カウンセリング論	2 3 4	T	講	○						2				
		発達心理学	2 3 4	T	講	△		○		△		2				
		心理学研究法 I	1 2 3 4	M	講	○						2				
		心理統計法 I	1 2 3 4	M	演	○						2				
		心理・教育アセスメント I	2 3 4	S	実	○						2				
教育学概論	1 2 3 4	T	講		○	○	○	○	△		2					

科目区分	授業科目	履修年次	授 業 方 法	授 業 形 態	認 定 心 理 士	幼免一種			小免一種		社 会 福 祉 主 事	卒業要件単位数				備考		
						実 習 要 件	免 許 要 件	実 習 要 件	免 許 要 件	必 修		選 択	小 計	合 計				
専門教育科目 展開科目(心理)	認知心理学	2 3 4	T	講	△								2					
	感情心理学	2 3 4	T	講	△								2					
	発達生理心理学Ⅰ	2 3 4	T	講	△								2					
	発達生理心理学Ⅱ	3 4	T	講	△								2					履修条件有 (P.71)
	比較行動学	3 4	T	講	△								2					
	精神保健学	2 3 4	T	講	(△)						△		2					
	発達の課題と障害	3 4	T	講	△								2					
	発達障害学	1 2 3 4	T	講	△								2					
	心身医学	3 4	T	講	(△)						△		2					
	心理療法基礎	2 3 4	S	演	△								2					
	心理療法上級	3 4	S	演	△								2					履修条件有 (P.71)
	家族の心理学	1 2 3 4	T	講	△								2					
	親子関係の心理学	3 4	T	講	(△)								2					
	言語心理学	3 4	T	講	△								2					
	集団の心理学	2 3 4	T	講	△								2					
	学校教育カンファレンス	3 4	S	演	(△)								2					
	子育てカンファレンス	3 4	S	演	(△)								2					
	子どもマーケット調査論	2 3 4	T	講									2					
	子ども文化	2 3 4	S	講									2					
	対人コミュニケーション論	2 3 4	T	講	△								2					
	対人コミュニケーションスキル	3 4	S	演	△								2					
	少年非行の心理学	1 2 3 4	T	講	△								2					
	犯罪の心理学	3 4	T	講	△								2					
	心理統計法Ⅱ	2 3 4	S	演	△								2					履修条件有 (P.71)
	心理学基礎実験	2 3 4	S	実	○								2					履修条件有 (P.71)
	心理・教育アセスメントⅡ	3 4	S	演	(△)								2					履修条件有 (P.71)
	社会的認知	2 3 4	M	講	△								2					
	文化心理学	2 3 4	T	講	△								2					
心理学研究法Ⅱ	2 3 4	S	演	△								2					履修条件有 (P.71)	
産業カウンセリング	3 4	M	講	△								2						
ストレスマネジメント論	2 3 4	T	講	△								2						

一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上
 専門教育科目から92単位以上
 展開科目から48単位以上

科目区分	授業科目	履修年次	授 業 方 法	授 業 形 態	認 定 心 理 士	幼免一種		小免一種		社 会 福 祉 主 事	卒業要件単位数				備考			
						実 習 要 件	免 許 要 件	実 習 要 件	免 許 要 件		必 修	選 択	小 計	合 計				
専門教育科目	展開科目(教育)	国語	2 3 4	T	講							2						
		社会	2 3 4	T	講								2					
		算数	2 3 4	T	講								2					
		理科	2 3 4	T	講					4科目8単位以上			2					
		生活	2 3 4	T	講					5科目10単位以上			2					
		子ども美術	2 3 4	T	講								2					
		家庭	2 3 4	T	講								2					
		子ども体育	2 3 4	T	講								2					
		子ども音楽	2 3 4	T	講								2					
		初等英語	2 3 4	T	講								2					
		音楽実技 I A	1 2 3 4	S	実								1					
		音楽実技 I B	1 2 3 4	S	実								1					
		初等国語科教育法	2 3 4	T or TS	演					○			2					
		初等社会科教育法	2 3 4	T or TS	演					○			2					
		初等算数科教育法	2 3 4	T or TS	演					○			2					
		初等理科教育法	2 3 4	T or TS	演					○			2					
		初等生活科教育法	2 3 4	T or TS	演					○			2					
		初等音楽科教育法	2 3 4	T or TS	演					○			2					
		初等図画工作科教育法	2 3 4	T or TS	演					○			2					
		初等家庭科教育法	2 3 4	T or TS	演					○			2					
		初等体育科教育法	2 3 4	T or TS	演					○			2					
		初等英語教育法	2 3 4	T or TS	演					○			2					
		教職論	2 3 4	T	講			○	○		○		2					
		比較教育制度論	2 3 4	T	講				○		○		2					
		学校安全	2 3 4	T	講				○		○		2					
		特別支援教育	2 3 4	T	講				○		○		2					
		子ども教育課程論	2 3 4	T	講			○	○		○		2					
		道徳教育	2 3 4	T	演				△	○	○		2					
		総合的な学習の指導法	2 3 4	T	講						○		2					
		生徒・進路指導	2 3 4	T	講						○	○	2					
教育相談	2 3 4	T	講						○		2							

一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上
 専門教育科目から92単位以上
 展開科目から48単位以上

※ テキスト科目 (T) 又はテキストスクーリング科目 (TS) のいずれかが選択できる。ただし、実習要件の4科目8単位以上は、TS科目で単位修得するよう努めること。

科目区分	授業科目	履修年次	授 業 方 法	授 業 形 態	認 定 心 理 士	卒業要件単位数					備考		
						幼 免 一 種 実 習 要 件	小 免 一 種 実 習 要 件	社 会 福 祉 主 事 免 許 要 件	必 修	選 択		小 計	合 計
専門教育科目	展開科目(教育)	健康	2 3 4	T	講		○				2	一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上 専門教育科目から92単位以上 展開科目から48単位以上	
		人間関係	2 3 4	T	講		○				2		
		環境	2 3 4	T	講		○				2		
		言葉	2 3 4	T	講		○				2		
		表現	2 3 4	T	講		○				2		
		保育内容総論(保育指導法)	2 3 4	T	講		○				2		
		健康指導法	2 3 4	TS	演		○				2		
		人間関係指導法	2 3 4	TS	演		○				2		
		環境指導法	2 3 4	TS	演		○				2		
		言葉指導法	2 3 4	TS	演		○				2		
		造形表現指導法	2 3 4	TS	演		○				2		
		音楽表現指導法	2 3 4	TS	演		○				2		
		幼児理解と保育相談	2 3 4	T	講		○				2		
		教育の方法と技術	2 3 4	T	講		○	○			2		
		特別活動	2 3 4	T	講			○			2		
		子ども家庭福祉	2 3 4	T	講		△	△	△		2		
		社会福祉	3 4	T	講				△		2		
		国際社会の福祉	4	S	講						2		
		教職実践演習(幼・小)	4	S	演		○	○			2		履修条件有(P.71)
		教育実習指導(事前・事後)(幼)	4	S	実		事前のみ	○			1		3年次の所定の時期から履修し、4年次に単位が付与されます
		教育実習Ⅰ(幼)	4	S	実			○			2		履修条件有(P.71)
		教育実習Ⅱ(幼)	4	S	実			○			2		履修条件有(P.71)
		教育実習指導(事前・事後)(小)	4	S	実			事前のみ	○		1		3年次の所定の時期から履修し、4年次に単位が付与されます
	教育実習Ⅰ(小)	4	S	実				○		2	履修条件有(P.71)		
	教育実習Ⅱ(小)	4	S	実				○		2	履修条件有(P.71)		
	ジェンダー論	1 2 3 4	T	講						2			
	介護等体験	3 4		実				○					
卒業科目	こども心理学演習	3 4	TS	演	△					2			
	卒業研究・卒業論文	4	TS	演	△					4	履修条件有(P.71)		

※メディア授業(M)の科目は、スクーリング単位として換算できません。

※テキストスクーリング(TS)科目は、半数の単位をスクーリング単位として換算できます。

●正科生（3年次編入学）

A. 認定心理士コース

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	授業形態	認定心理士	社会福祉主事	卒業要件 単位数				備考	
							必修	選択	小計	合計		
一般教育科目	認定単位							32		32 単位		
専門教育科目	基礎科目	子ども学	3 4	T	講			2		12 単位		
		心理学概論（こころの形成）	3 4	T	講	○		2				
		心理学概論（こころの理解）	3 4	T	講	○		2				
		乳幼児心理学	3 4	T	講	○		2				
		子ども臨床心理学	3 4	T	講	○		2				
		子どもの心理学（総論）	3 4	T	講	(○)		2				
	基礎科目	教育心理学	3 4	T	講	○		2		12 単位以上		
		青年心理学	3 4	T	講	△		2				
		パーソナリティ心理学	3 4	T	講	△		2				
		カウンセリング論	3 4	T	講	○		2				
		発達心理学	3 4	T	講	△		2				
		教育学概論	3 4	T	講		△	2				
		心理学研究法Ⅰ	3 4	M	講	○		2				
		心理統計法Ⅰ	3 4	M	演	○		2				
		心理・教育アセスメントⅠ	3 4	S	実	○		2				
		展開科目	(心理)	心理統計法Ⅱ	3 4	S	演	△			2	
	心理学基礎実験			3 4	S	実	○		2		履修条件有（P.71）	
	認知心理学			3 4	T	講	△		2			
	感情心理学			3 4	T	講	△		2			
	言語心理学			3 4	T	講	△		2			
	親子関係の心理学			3 4	T	講	(△)		2			
	発達の課題と障害			3 4	T	講	△		2			
	発達生理心理学Ⅰ			3 4	T	講	△		2			
	発達生理心理学Ⅱ			3 4	T	講	△		2		履修条件有（P.71）	
	比較行動学			3 4	T	講	△		2			
	心理療法基礎		3 4	S	演	△		2				
	心理療法上級		3 4	S	演	△		2		履修条件有（P.71）		
	精神保健学		3 4	T	講	(△)	△	2				
	発達障害学		3 4	T	講	△		2				
	心身医学		3 4	T	講	(△)	△	2				
	少年非行の心理学		3 4	T	講	△		2				
	犯罪の心理学		3 4	T	講	△		2				
	学校教育カンファレンス		3 4	S	演	(△)		2				
	子育てカンファレンス		3 4	S	演	(△)		2				
	集団の心理学		3 4	T	講	△		2				
	対人コミュニケーション論		3 4	T	講	△		2				
対人コミュニケーションスキル	3 4		S	演	△		2					
家族の心理学	3 4		T	講	△		2					
子どもマーケット調査論	3 4		T	講			2					
子ども文化	3 4		S	講			2					
心理・教育アセスメントⅡ	3 4		S	演	(△)		2		履修条件有（P.71）			
社会的認知	3 4	M	講	△		2						
文化心理学	3 4	T	講	△		2						
心理学研究法Ⅱ	3 4	S	講	△		2		履修条件有（P.71）				
ストレスマネジメント論	3 4	T	講	△		2						
産業カウンセリング	3 4	M	講	△		2						
(教育)	子ども家庭福祉	3 4	T	講		△	2					
	社会福祉	3 4	T	講		△	2					
	国際社会の福祉	4	S	講			2					
	ジェンダー論	3 4	T	講			2					
	認定単位						28					

参照：認定心理士資格（（公社）日本心理学会認定資格）読替表（P.86）
 （注）基礎科目・基幹科目・展開科目それぞれの最低必要単位数の合計ではありません。

B. 幼稚園教諭一種免許コース

科目区分	授業科目	履修年次		授業方法	授業形態	幼免一種		社会福祉主事	卒業要件単位数			備考
						実習要件	免許要件		必修	選択	小計	
一般教育科目	日本国憲法	3	4	T	講		○		2			教員免許状取得希望者は、体育実技 A 又は体育実技 B いずれかの単位を修得すること。
	体育実技 A	3	4	S	実		△			1		
	体育実技 B	3	4	S	実		△			1		
	レクリエーション論	3	4	S	講		△			2		
	健康科学論	3	4	T	講		△			2		
	情報処理基礎 I (機器操作を含む)	3	4	M	演		○		2			
	英語 I	3	4	T	講		○		2			
認定単位									24			
基礎科目	子ども学	3	4	T	講				2		12 単位	
	心理学概論 (こころの理解)	3	4	T	講		△		2			
	心理学概論 (こころの形成)	3	4	T	講		△		2			
	乳幼児心理学	3	4	T	講		○		2			
	子ども臨床心理学	3	4	T	講		△		2			
	子どもの心理学 (総論)	3	4	T	講		△		2			
基幹科目	教育学概論	3	4	T	講	○	○	△	2		12 単位	
	教育心理学	3	4	T	講	○	○		2			
	発達心理学	3	4	T	講		○		2			
	カウンセリング論	3	4	T	講				2			
認定単位									4			
専門教育科目	健康	3	4	T	講	3 科目 6 単位以上	○		2		68 単位以上	
	人間関係	3	4	T	講		○		2			
	環境	3	4	T	講		○		2			
	言葉	3	4	T	講		○		2			
	表現	3	4	T	講		○		2			
	音楽実技 I A	3	4	S	実				1			
	音楽実技 I B	3	4	S	実				1			
	保育内容総論 (保育指導法)	3	4	T	講	3 科目 6 単位以上	○		2			
	健康指導法	3	4	TS	演		○		2			
	人間関係指導法	3	4	TS	演		○		2			
	環境指導法	3	4	TS	演		○		2			
	言葉指導法	3	4	TS	演		○		2			
	音楽表現指導法	3	4	TS	演		○		2			
	造形表現指導法	3	4	TS	演		○		2			
	教職論	3	4	T	講	○	○		2			
	比較教育制度論	3	4	T	講		○		2			
	学校安全	3	4	T	講		○		2			
	特別支援教育	3	4	T	講		○		2			
	子ども教育課程論	3	4	T	講	○	○		2			
	教育の方法と技術	3	4	T	講		○		2			
	幼児理解と保育相談	3	4	T	講		○		2			
	教育実習指導 (事前・事後) (幼)	4		S	実	事前のみ	○		1			
	教育実習 I (幼)	4		S	実		○		2			
	教育実習 II (幼)	4		S	実		○		2			
	教職実践演習 (幼・小)	4		S	演		○		2			
	道徳教育	3	4	T	演		△		2			
	初等英語	3	4	T	講				2			
	子ども家庭福祉	3	4	T	講		△	△	2			
	社会福祉	3	4	T	講			△	2			
	ジェンダー論	3	4	T	講				2			
	心身医学	3	4	T	講			△	2			
	精神保健学	3	4	T	講			△	2			
認知心理学	3	4	T	講				2				
感情心理学	3	4	T	講				2				
認定単位									24			

※メディア授業 (M) の科目は、スクーリング単位として換算できます。

※テキストスクーリング (TS) 科目は、半数の単位をスクーリング単位として換算できます。

参照：幼稚園教諭一種免許課程に係る科目読替表 (P.88 ~ 89)

C. 小学校教諭一種免許コース

科目区分	授業科目	履修年次		授業方法	授業形態	小免一種		社会福祉主事	卒業要件単位数				備考	
						実習要件	免許要件		必修	選択	小計	合計		
一般教育科目	日本国憲法	3	4	T	講		○		2				32 単位以上	教員免許状取得希望者は、体育実技 A 又は体育実技 B いずれかの単位を修得すること。
	体育実技 A	3	4	S	実		△			1				
	体育実技 B	3	4	S	実		△			1				
	レクリエーション論	3	4	S	講		△			2				
	健康科学論	3	4	T	講		△			2				
	情報処理基礎 I (機器操作を含む)	3	4	M	演		○		2					
	英語 I	3	4	T	講		○		2					
認定単位									24					
基礎科目	子ども学	3	4	T	講				2			12 単位		
	心理学概論 (こころの理解)	3	4	T	講		△		2					
	心理学概論 (こころの形成)	3	4	T	講		△		2					
	乳幼児心理学	3	4	T	講		△		2					
	子ども臨床心理学	3	4	T	講		△		2					
	子どもの心理学 (総論)	3	4	T	講		△		2					
基幹科目	教育学概論	3	4	T	講	○		△	2		12 単位			
	教育心理学	3	4	T	講		○		2					
	発達心理学	3	4	T	講		△		2					
	カウンセリング論	3	4	T	講				2					
認定単位									4					
専門教育科目	国語	3	4	T	講					2	68 単位以上	一般教育科目と専門教育科目から合計 124 単位以上	※ テキスト科目 (T) 又はテキストスクーリング科目 (TS) のいずれかが選択できる。ただし、実習要件の 4 科目 8 単位以上は、TS 科目で単位修得するよう努めること。	
	社会	3	4	T	講					2				
	算数	3	4	T	講					2				
	理科	3	4	T	講					2				
	生活	3	4	T	講					2				
	家庭	3	4	T	講					2				
	子ども美術	3	4	T	講					2				
	子ども体育	3	4	T	講					2				
	初等英語	3	4	T	講					2				
	子ども音楽	3	4	T	講					2				
	音楽実技 I A	3	4	S	実					1				
	音楽実技 I B	3	4	S	実					1				
	初等国語科教育法	3	4	T or TS	演		○			2				
	初等社会科教育法	3	4	T or TS	演		○			2				
	初等算数科教育法	3	4	T or TS	演		○			2				
	初等理科教育法	3	4	T or TS	演		○			2				
	初等生活科教育法	3	4	T or TS	演		○			2				
	初等音楽科教育法	3	4	T or TS	演		○			2				
	初等図画工作科教育法	3	4	T or TS	演		○			2				
	初等家庭科教育法	3	4	T or TS	演		○			2				
	初等体育科教育法	3	4	T or TS	演		○			2				
	初等英語教育法	3	4	T or TS	演		○			2				
	教職論	3	4	T	講		○			2				
	比較教育制度論	3	4	T	講		○			2				
	学校安全	3	4	T	講		○			2				
	特別支援教育	3	4	T	講		○			2				
	子ども教育課程論	3	4	T	講		○			2				
	道徳教育	3	4	T	演	○	○			2				
	総合的な学習の指導法	3	4	T	講		○			2				
	特別活動	3	4	T	講		○			2				
	教育の方法と技術	3	4	T	講		○			2				
	生徒・進路指導	3	4	T	講	○	○			2				
	教育相談	3	4	T	講		○			2				
	教育実習指導 (事前・事後) (小)		4	S	実		○			1				
	教育実習 I (小)		4	S	実		○			2				
	教育実習 II (小)		4	S	実		○			2				
教職実践演習 (幼・小)		4	S	演		○			2					
子ども家庭福祉	3	4	T	講		△	△		2					
社会福祉	3	4	T	講			△		2					
ジェンダー論	3	4	T	講					2					
介護等体験	3	4		実		○								
心身医学	3	4	T	講			△		2					
精神保健学	3	4	T	講			△		2					
認定単位									24					
													3年次の所定の時期から履修し、4年次に単位が付与されます	
													履修条件有 (P.71)	
													履修条件有 (P.71)	
													履修条件有 (P.71)	

※メディア授業 (M) の科目は、スクーリング単位として換算できます。
 ※テキストスクーリング (TS) 科目は、半数の単位をスクーリング単位として換算できます。
 参照：小学校教諭一種免許課程に係る科目読替表 (P.90 ~ 91)

D. 生涯学習コース

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	授業形態	社会福祉主事	卒業要件 単位数				備考
						必修	選択	小計	合計	
一般教育科目	認定単位					32		32	単位	
基礎科目	子ども学	3 4	T	講		2		12	単位	
	心理学概論（こころの形成）	3 4	T	講		2				
	心理学概論（こころの理解）	3 4	T	講		2				
	乳幼児心理学	3 4	T	講		2				
	子ども臨床心理学	3 4	T	講		2				
	子どもの心理学（総論）	3 4	T	講		2				
基幹科目	教育学概論	3 4	T	講	△	2		12	単位	
	教育心理学	3 4	T	講		2				
	発達心理学	3 4	T	講		2				
	青年心理学	3 4	T	講		2				
	パーソナリティ心理学	3 4	T	講		2				
	カウンセリング論	3 4	T	講		2				
専門教育科目	(心理) 展開科目	認知心理学	3 4	T	講		2	68	単位以上	
		感情心理学	3 4	T	講		2			
		言語心理学	3 4	T	講		2			
		親子関係の心理学	3 4	T	講		2			
		発達の課題と障害	3 4	T	講		2			
		発達生理心理学Ⅰ	3 4	T	講		2			
		発達生理心理学Ⅱ	3 4	T	講		2			
		比較行動学	3 4	T	講		2			
		心理療法基礎	3 4	S	演		2			
		心理療法上級	3 4	S	演		2			
		精神保健学	3 4	T	講	△	2			
		発達障害学	3 4	T	講		2			
		心身医学	3 4	T	講	△	2			
		少年非行の心理学	3 4	T	講		2			
		犯罪の心理学	3 4	T	講		2			
	学校教育カンファレンス	3 4	S	演		2				
	子育てカンファレンス	3 4	S	演		2				
	集団の心理学	3 4	T	講		2				
	対人コミュニケーション論	3 4	T	講		2				
	対人コミュニケーションスキル	3 4	S	演		2				
	家族の心理学	3 4	T	講		2				
	子どもマーケット調査論	3 4	T	講		2				
	子ども文化	3 4	S	講		2				
	社会的認知	3 4	M	講		2				
	文化心理学	3 4	T	講		2				
	産業カウンセリング	3 4	M	講		2				
	ストレスマネジメント論	3 4	T	講		2				
	(教育)	子ども家庭福祉	3 4	T	講	△	2			
		社会福祉	3 4	T	講	△	2			
		国際社会の福祉	4	S	講		2			
ジェンダー論		3 4	T	講		2				
	認定単位					28				

一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上

専門教育科目から92単位以上

履修条件有 (P.71)

履修条件有 (P.71)

3-1-2 履修の規程

科目には、履修する上で条件が付されているものがあります。進級や卒業に影響する場合がありますので、十分に注意して履修計画を立ててください。なお、履修規程に定められた必修科目は、各種資格・免許の取得における必修科目とは限りません。資格・免許に関わる科目は、P.85以降の読替表を参照してください。

<必修・選択の別>

必修科目	…………	卒業するために修得が必須となる科目。
選択科目	…………	所定の領域の中から選択して履修する科目。 卒業要件の124単位には含まれるが、必修ではない。
自由科目	…………	自由に選択して履修する科目。卒業要件の124単位に含まれるが、必修ではない。

<履修の規程>

一般教育科目（1年次入学のみ該当）

一般教育科目	教養科目群	人文	[国語表現] を必修とし、残りの科目から2単位以上を選択必修とする。
		自然科学	4単位以上を選択必修とする。
		社会	4単位以上を選択必修とする。
	スポーツ科目群		2単位以上を選択必修とする。
	情報処理科目群		[情報科学概論] [情報処理基礎Ⅰ（機器操作を含む）] を必修とする。
	外国語科目群		[英語Ⅰ] [英語コミュニケーションⅠ] [リスニング] を必修とし、残りの科目から2単位以上を選択必修とする。
	合計		一般教育科目から上記を含む合計32単位以上の修得を卒業要件単位数とする。
【一般教育科目 履修条件】			
i) [情報処理基礎Ⅱ（機器操作を含む）]は[情報処理基礎Ⅰ（機器操作を含む）]の単位を修得しなければ履修することはできない。			

専門教育科目

科目	所属	1年次入学	3年次編入学			
			認定心理士 コース	生涯学習 コース	幼稚園教諭一種 免許コース	小学校教諭一種 免許コース
基礎科目		6科目12単位全てを必修とする。				
基幹科目		[教育心理学][カウンセリング論] を必修とし、残りの科目から8単位 以上を選択必修とする。	6科目12単位 全てを必修とす る。	認定単位を含め、12単位全てを必 修とする。		
展開科目		合計48単位以 上を選択必修 とする。	認定単位を含め 62単位以上を 選択必修とする。	認定単位を含め 68単位以上を 選択必修とする。	認定単位を含め、68単位以上を選 択必修とする。	
自由選択科目		20単位	6単位	—	—	
	(卒業研究科目2科目 6単位を含める)	(原則卒業研究科目履修不可)				
合計		専門教育科目から合計92単位以上(3年次編入学は包括認定単位数を含む)の修得を卒業 要件単位数とする。				
専門教育科目	【専門教育科目 履修条件】	<ul style="list-style-type: none"> i) [心理統計法Ⅱ]は[心理統計法Ⅰ]の単位を修得しなければ履修することはできない。 ii) [心理学基礎実験]は[心理学研究法Ⅰ][心理統計法Ⅰ]の単位を修得しなければ履修することはできない。 iii) [心理学研究法Ⅱ]は[心理学研究法Ⅰ]の単位を修得しなければ履修することはできない。 iv) [心理療法上級]は[心理療法基礎]の単位を修得しなければ履修することはできない。 v) [心理・教育アセスメントⅡ]は[心理・教育アセスメントⅠ]の単位を修得しなければ履修することはできない。 vi) [発達生理心理学Ⅱ]は[発達生理心理学Ⅰ]の単位を修得しなければ履修することはできない。 vii) [教育実習Ⅰ・Ⅱ]は[教育実習指導(事前・事後)]を履修しなければ実施することはできない。 viii) [教育実習Ⅰ・Ⅱ]は教育実習要件科目※の単位を修得しなければ実施することはできない。 ※「カリキュラム構成」(P.61～68)参照 ix) [教職実践演習(幼・小)]は[教育実習]を終了しなければ履修することはできない。 ただし、取得を目指す同校種の実務経験があり、教育職員免許法施行規則第六条備考九を使用して教育 実習を行わない場合には、通信教育部まで連絡すること。 x) [卒業研究・卒業論文]は[こども心理学演習]の単位を修得しなければ履修することはできない。 上記以外の授業科目についても、前提となる他の授業科目の単位が未修得の場合には、その履修を認めない ことがある。 				
	【その他】	<ul style="list-style-type: none"> i) [音楽実技ⅠB]の履修には[音楽実技ⅠA]の事前履修が望ましい。 ii) [心理・教育アセスメントⅠ]の履修には[子ども臨床心理学]の事前履修が望ましい。 iii) [対人コミュニケーションスキル]の履修には、[対人コミュニケーション論]の事前履修が望ましい。 iv) [子育てカンファレンス]の履修には[親子関係の心理学]の事前履修が望ましい。 v) [心理統計法Ⅱ]の履修には[情報処理基礎Ⅰ(機器操作を含む)]の事前履修もしくは同程度のパソコン スキルの修得が望ましい。 vi) 心理領域の卒業研究科目の履修には、申込時点で[心理統計法Ⅰ]・[心理統計法Ⅱ]・[心理学基礎実験] の単位を修得しておくこと。 vii) 卒業研究科目の履修には、申込時点で指導教員が指定する科目を1科目以上単位を修得しておくこと。 				

***履修条件がある科目は、履修登録の時点で前提となる科目の単位を修得しておく必要
があります。**

総計

こども心理学部こども心理学科の正科生(1年次入学・3年次編入学)の卒業要件単位数は
124単位以上とする。(3年次編入学は包括認定単位数を含める。)

3-1-3 進級要件

●正科生（1年次入学）

正科生（1年次入学）は以下に定められているとおり、必修および選択科目を合わせて、所定の単位以上を修得しなければ進級できません。

<進級要件単位>

科目区分	3年次への進級要件		4年次への進級要件	
	一般教育科目	必修科目	6単位以上	必修科目
小計		22単位以上	小計	28単位以上
専門教育科目	必修科目	12単位以上	必修科目	16単位以上
	小計	38単位以上	小計	64単位以上
合計	60単位以上		92単位以上	

●正科生（3年次編入学）

正科生（3年次編入学）は進級要件はありません。ただし、履修条件のある科目に注意して計画的に履修し、卒業要件を満たしてください。

3-1-4 卒業要件

正科生（1年次入学・3年次編入学）は以下に定められているとおり、必修、選択必修および自由選択科目を合わせて、所定の単位以上を修得しなければ卒業できません。

●正科生（1年次入学）

<卒業要件単位>

科目区分			卒業要件単位				備考
			必修	選択必修	自由選択	小計	
一般教育科目	教養科目群	人文	2	2	6	32単位以上	卒業要件単位数の124単位中、30単位以上はスクーリング単位で満たさなければならない。スクーリング単位とは、対面授業及びメディア授業、並びにテキストスクーリング科目(単位数の半分換算)の単位を合計したものである。
		自然科学	0	4			
		社会	0	4			
	スポーツ科目群		0	2			
	情報処理科目群		4	0			
	外国語科目群		6	2			
専門教育科目	基礎科目		12	0	20	92単位以上	
	基幹科目		4	8			
	展開科目		0	48			
	卒業研究科目		0	0			
合計			28単位	70単位	26単位	124単位	

●正科生（3年次編入学）

<卒業要件単位>

◆認定心理士コース

科目区分		卒業要件単位			備考
		必修	選択必修	小計	
一般教育科目(認定単位)		(32)		32単位	・認定単位数を含む。 ・卒業要件単位数の124単位中、30単位以上はスクーリング単位で満たさなければならない。スクーリング単位とは、対面授業及びメディア授業、並びにテキストスクーリング科目(単位数の半分換算)の単位を合計したものである。
専門教育科目	基礎科目	12	0	12	
	基幹科目	4	8	12	
	展開科目	0	34	62	
	(認定単位)	(28)		6*	
合計		-		124単位	

*基幹科目もしくは展開科目の中からそれぞれに必要な単位数に加えて余剰分6単位以上がさらに必要となる。

◆生涯学習コース

科目区分		卒業要件単位			備考
		必修	選択必修	小計	
一般教育科目(認定単位)		(32)		32単位	・認定単位数を含む。 ・卒業要件単位数の124単位中、30単位以上はスクーリング単位で満たさなければならない。スクーリング単位とは、対面授業及びメディア授業、並びにテキストスクーリング科目(単位数の半分換算)の単位を合計したものである。
専門教育科目	基礎科目	12	0	12	
	基幹科目	12	0	12	
	展開科目	0	40	68	
	(認定単位)	(28)		68	
合計		-		124単位	

◆幼稚園教諭一種免許コース・小学校教諭一種免許コース

科目区分		卒業要件単位			備考
		必修	選択必修	小計	
一般教育科目	日本国憲法	2	0	32単位	・認定単位数を含む。 ・卒業要件単位数の124単位中、30単位以上はスクーリング単位で満たさなければならない。スクーリング単位とは、対面授業及びメディア授業、並びにテキストスクーリング科目(単位数の半分換算)の単位を合計したものである。
	体育実技A	左記の科目のうち2単位以上選択必修			
	体育実技B				
	レクリエーション論				
	健康科学論	2			
	情報処理基礎 I (機器操作を含む)				
	英語 I				
	(認定単位)	(24)			
専門教育科目	基礎科目	12	0	12	
	基幹科目	8	0	12	
	(認定単位)	(4)		92単位以上	
	展開科目	0	44		68
(認定単位)	(24)				
合計		-		124単位	

* 通学課程で修得した単位は30単位を上限としてスクーリング科目による単位として認定されるが、通信課程で修得した単位は入学資格を証明する書類により授業形態を確認し、個別に認定する。

3-2 モチベーション行動科学部モチベーション行動科学科

3-2-1 カリキュラム構成

●正科生（1年次入学）

科目区分	授業科目	履修年次	授 業 方 法	授 業 形 態	認 定 心 理 士	「公認モチベーション マネジャー」Basic	社 会 福 祉 主 事	卒業要件単位数				備考
								必 修	選 択	小 計	合 計	
一般教育科目	人文	哲学	1 2 3 4	T	講				2		4 単 位 以 上	一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上 一般教育科目から32単位以上
		宗教学	1 2 3 4	T	講				2			
		歴史学	1 2 3 4	T	講				2			
		文学	1 2 3 4	T	講				2			
		国語表現	1 2 3 4	S	講			2				
	自然科学	数学	1 2 3 4	T	講				2		4 単 位 以 上	
		天文学	1 2 3 4	T	講				2			
		生命科学	1 2 3 4	T	講				2			
		脳科学	1 2 3 4	M	講				2			
		環境科学	1 2 3 4	T	講				2			
	社会	社会学	1 2 3 4	T	講			△	2		4 単 位 以 上	
		政治学	1 2 3 4	S	講				2			
		経済学	1 2 3 4	T	講			△	2			
		法律学	1 2 3 4	T	講			△	2			
		日本国憲法	1 2 3 4	T	講				2			
	スポーツ科目群	体育実技 A	1 2 3 4	S	実				1		2 単 位 以 上	
		体育実技 B	2 3 4	S	実				1			
		レクリエーション論	1 2 3 4	S	講				2			
		健康科学論	2 3 4	T	講				2			
	情報処理科目群	情報科学概論	1 2 3 4	T	講				2		4 単 位 以 上	
情報処理基礎Ⅰ(機器操作を含む)		1 2 3 4	M	演				2				
情報処理基礎Ⅱ(機器操作を含む)		2 3 4	S	演				2				
外国語科目群	英語Ⅰ	1 2 3 4	T	講				2		8 単 位 以 上		
	英語Ⅱ	2 3 4	T	講				2				
	英語コミュニケーションⅠ	1 2 3 4	S	演				2				
	英語コミュニケーションⅡ	2 3 4	S	演				2				
	リスニング	1 2 3 4	M	演				2				
	中国語	2 3 4	S	演				2				

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	授業形態	認定心理士	「公認モチベーション・インストラクター」Basic	社会福祉主事	卒業要件単位数				備考
								必修	選択	小計	合計	
専門教育科目 心理・コミュニケーション科目群	心理学概論	1 2 3 4	T	講	○		△	2				
	パーソナリティ心理学	1 2 3 4	T	講	△				2			
	心理学研究法	1 2 3 4	M	講	○				2			
	社会心理学	1 2 3 4	T	講	△					2		
	心理学統計法	1 2 3 4	M	演	○				2			
	発達心理学(モチベーション)	2 3 4	T	講	△					2		
	心理学実験	2 3 4	S	実	○					2		履修条件有 (P.81)
	心理調査概論	2 3 4	S	講	(△)					2		
	感情心理学	3 4	T	講	△					2		
	グループ・ダイナミックス	2 3 4	T	講	△					2		
	産業・組織心理学	3 4	T	講	△	○				2		
	認知心理学	2 3 4	T	講	△					2		
	家族の心理学	3 4	T	講	△					2		
	臨床心理学概論	1 2 3 4	T	講	△					2		
	モチベーション論Ⅰ	2 3 4	T	講	○	○			2			
	リーダーシップ論	2 3 4	T	講	△					2		
	コミュニケーションの心理学	2 3 4	T	講	△	○				2		
	カウンセリング論	2 3 4	T	講	△					2		
	産業カウンセリング	3 4	M	講	△					2		
	モチベーション論Ⅱ	2 3 4	T	講	○	○			2			履修条件有 (P.81)
	ストレスマネジメント論	3 4	T	講	△					2		
	心理療法	2 3 4	S	講	△					2		
	コミュニケーション・スキル	3 4	S	演	△					2		
	心理的アセスメント	2 3 4	S	実	○					2		
	ポジティブ心理学	3 4	T	講	△	○				2		
	心理演習	3 4	S	演	△					2		
エイジングの心理学	3 4	T	講	△					2			
学習・言語心理学	2 3 4	T	講	△					2			
福祉心理学	3 4	T	講	△					2			

心理・コミュニケーション科目群から14単位以上

専門教育科目から92単位以上

一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上

科目区分	授業科目	履修年次	授 業 方 法	授 業 形 態	認 定 心 理 士	「公認宅 建士」Basic マイナー	社 会 福 祉 主 事	卒業要件単位数				備考	
								必 修	選 択	小 計	合 計		
専門教育科目	経営科目群	ジェンダー論	2 3 4	T	講				2				
		地域と社会	2 3 4	T	講				2				
		公共サービス論	3 4	S	講				2				
		まちづくり論	3 4	T	講				2				
		簿記	2 3 4	S	講				2				
		経営組織論	1 2 3 4	T	講				2				
		国際経済	2 3 4	T	講				2				
		企業と管理	1 2 3 4	T	講				2				
		グローバルビジネス	2 3 4	T	講				2				
		人的資源管理論	3 4	T	講				2				
		経営戦略	2 3 4	S	講				2				
		経営リスクマネジメント	3 4	S	講				2				
		暮らしと流通	1 2 3 4	T	講				2				
		消費者の行動と心理	2 3 4	T	講				2				
		ビジネスプランニング	3 4	S	演				2				
		マーケティング	1 2 3 4	S	演				2				
		マーケティング戦略	3 4	T	講				2				
人間の行動と都市	3 4	T	講				2						

経営科目群から12単位以上

専門教育科目から92単位以上

一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上

科目区分	授業科目	履修年次	授業方法	授業形態	認定心理士	「公認モチベーション・マニピュレーター」Basic	社会福祉主事	卒業要件単位数				備考
								必修	選択	小計	合計	
専門教育科目 教育科目群	教育心理学(モチベーション)	1 2 3 4	T	講	○				2			
	生涯学習論	2 3 4	M	講					2			
	コンピュータと人間の接点	1 2 3 4	T	講					2			
	NPO と市民活動	3 4	T	講					2			
	国際理解教育論	2 3 4	T	講					2			
	異文化コミュニケーション	1 2 3 4	T	講					2			
	コーチング	3 4	M	講		○			2			
	教育と産業社会	2 3 4	T	講					2			
	社会教育とシティズンシップ	3 4	T	講					2			
	地域教育支援論	1 2 3 4	T	講					2			
	教育とアイデンティティ	3 4	T	講					2			
	教育福祉論	3 4	T	講					2			
	コンピュータネットワーク	2 3 4	T	講					2			
	教育学概論(モチベーション)	1 2 3 4	T	講				△	2			
	社会福祉	3 4	T	講				△	2			
	国際社会の福祉	4	S	講					2			
演習科目	演習Ⅰ	3 4	T/S	演	△				2			
	演習Ⅱ	3 4	T/S	演	△				2			履修条件有 (P.81)
	卒業研究	4	T/S	演	△				4			履修条件有 (P.81)
								教育科目群から12単位以上		一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上		
								専門教育科目から92単位以上				

●正科生（3年次編入学）

科目区分	授業科目	履修年次	授 業 方 法	授 業 形 態	認 定 心 理 士	「公認モチベーション マネージャ」Basic	社 会 福 祉 主 事	卒業要件単位数			備考	
								必 修	選 択	小 計		
一般教育科目	認定単位							32		32単位		
専門教育科目	心理・コミュニケーション科目群	心理学概論	3 4	T	講	○		○	2			
		パーソナリティ心理学	3 4	T	講	△				2		
		心理学研究法	3 4	M	講	○				2		
		社会心理学	3 4	T	講	△					2	
		心理学統計法	3 4	M	演	○				2		
		発達心理学(モチベーション)	3 4	T	講	△					2	
		心理学実験	3 4	S	実	○					2	履修条件有 P.81
		心理調査概論	3 4	S	講 (△)						2	
		感情心理学	3 4	T	講	△						2
		グループ・ダイナミックス	3 4	T	講	△						2
		産業・組織心理学	3 4	T	講	△	○					2
		認知心理学	3 4	T	講	△						2
		家族の心理学	3 4	T	講	△						2
		臨床心理学概論	3 4	T	講	△						2
		モチベーション論Ⅰ	3 4	T	講	○	○				2	
		リーダーシップ論	3 4	T	講	△						2
		コミュニケーションの心理学	3 4	T	講	△	○					2
		カウンセリング論	3 4	T	講	△						2
		産業カウンセリング	3 4	M	講	△						2
		モチベーション論Ⅱ	3 4	T	講	○	○				2	履修条件有 P.81
		ストレスマネジメント論	3 4	T	講	△						2
		心理療法	3 4	S	講	△						2
		コミュニケーション・スキル	3 4	S	演	△						2
		心理的アセスメント	3 4	S	実	○						2
ポジティブ心理学	3 4	T	講	△	○					2		
心理演習	3 4	S	演	△						2		
エイジングの心理学	3 4	T	講	△						2		
学習・言語心理学	3 4	T	講	△						2		
福祉心理学	3 4	T	講	△						2		

一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上
専門教育科目から92単位以上

心理・コミュニケーション科目群から14単位以上

科目区分	授業科目	履修年次	授 業 方 法	授 業 形 態	認 定 心 理 士	「公認モチベーション マネジャー」Basic	社 会 福 祉 主 事	卒業要件単位数			備 考	
								必 修	選 択	小 計		
専門教育科目	経営科目群	ジェンダー論	3 4	T	講				2			
		地域と社会	3 4	T	講				2			
		公共サービス論	3 4	S	講					2		
		まちづくり論	3 4	T	講					2		
		簿記	3 4	S	講					2		
		経営組織論	3 4	T	講				2			
		国際経済	3 4	T	講					2		
		企業と管理	3 4	T	講					2		
		グローバルビジネス	3 4	T	講					2		
		人的資源管理論	3 4	T	講					2		
		経営戦略	3 4	S	講					2		
		経営リスクマネジメント	3 4	S	講					2		
		暮らしと流通	3 4	T	講					2		
		消費者の行動と心理	3 4	T	講					2		
		ビジネスプランニング	3 4	S	演					2		
		マーケティング	3 4	S	演					2		
		マーケティング戦略	3 4	T	講					2		
	人間の行動と都市	3 4	T	講					2			
	教育科目群	教育心理学(モチベーション)	3 4	T	講	○				2		
		生涯学習論	3 4	M	講					2		
		コンピュータと人間の接点	3 4	T	講					2		
		NPOと市民活動	3 4	T	講					2		
		国際理解教育論	3 4	T	講					2		
		異文化コミュニケーション	3 4	T	講					2		
		コーチング	3 4	M	講		○			2		
		教育と産業社会	3 4	T	講					2		
		社会教育とシティズンシップ	3 4	T	講					2		
		地域教育支援論	3 4	T	講					2		
		教育とアイデンティティ	3 4	T	講					2		
		教育福祉論	3 4	T	講					2		
		コンピュータネットワーク	3 4	T	講					2		
		教育学概論(モチベーション)	3 4	T	講				○	2		
社会福祉		3 4	T	講				○	2			
国際社会の福祉		4	S	講				2				
認定単位								28	28単位			

経営科目群から12単位以上

専門教育科目から92単位以上

教育科目群から12単位以上

一般教育科目と専門教育科目から合計124単位以上

3-2-2 履修の規程

科目には、履修する上で条件が付されているものがあります。
 進級や卒業に影響する場合がありますので、十分に注意して履修計画を立ててください。
 なお、履修規程に定められた必修科目は、各種資格・免許の取得における必修科目とは限りません。資格・免許に関わる科目は、P.85以降の読替表を参照してください。

<必修・選択の別>

必修科目	…………	卒業するために修得が必須となる科目。
選択科目	…………	所定の領域の中から選択して履修する科目。 卒業要件の124単位には含まれるが、必修ではない。
自由科目	…………	自由に選択して履修する科目。卒業要件の124単位に含まれるが、必修ではない。

<履修の規程>

一般教育科目（1年次入学のみ該当）

一般教育科目	教養科目群	人文	[国語表現] を必修とし、残りの科目から2単位以上を選択必修とする。
		自然科学	4単位以上を選択必修とする。
		社会	4単位以上を選択必修とする。
	スポーツ科目群		2単位以上を選択必修とする。
	情報処理科目群		[情報科学概論] [情報処理基礎Ⅰ（機器操作を含む）] を必修とする。
	外国語科目群		[英語Ⅰ] [英語コミュニケーションⅠ] [リスニング] を必修とし、残りの科目から2単位以上を選択必修とする。
	合計		一般教育科目から上記を含む合計32単位以上の修得を卒業要件単位数とする。
【一般教育科目 履修条件】			
i) [情報処理基礎Ⅱ（機器操作を含む）]は[情報処理基礎Ⅰ（機器操作を含む）]の単位を修得しなければ履修することはできない。			

専門教育科目

科目		所属	1年次入学	3年次編入学	
専門教育科目	心理・コミュニケーション科目群		[心理学概論] [心理学研究法] [心理学統計法] [モチベーション論Ⅰ] [モチベーション論Ⅱ] を必修とし、残りの科目から4単位以上を選択必修とする。		
	経営科目群		[地域と社会] [経営組織論] を必修とし、残りの科目から8単位以上を選択必修とする。		
	教育科目群		[教育学概論(モチベーション)] を必修とし、残りの科目から10単位以上を選択必修とする。		
	自由選択科目		54単位	26単位	
			(演習科目3科目8単位を含める)	(原則演習科目履修不可)	
	合計		専門教育科目から合計92単位以上(3年次編入学は包括認定単位数含む)の修得を卒業要件単位数とする。		
【専門教育科目 履修条件】 i) [モチベーション論Ⅱ]は[モチベーション論Ⅰ]の単位を修得しなければ履修することはできない。 ii) [心理学実験]は[心理学研究法][心理学統計法]の単位を修得しなければ履修することはできない。 iii) [演習Ⅱ]は[演習Ⅰ]の単位を修得しなければ履修することはできない。 iv) [卒業研究]は[演習Ⅱ]の単位を修得しなければ履修することはできない。 上記以外の授業科目についても、前提となる他の授業科目の単位が未修得の場合には、その履修を認めないことがある。					
【その他】 i) 演習科目の履修には、申込時点で指導教員が指定する条件を満たしておくこと。					

***履修条件がある科目は、履修登録の時点で前提となる科目の単位を修得しておく必要があります。**

総計

モチベーション行動科学部モチベーション行動科学科の正科生(1年次入学・3年次編入学)の卒業要件単位数は124単位以上とする。(3年次編入学は包括認定単位数を含める。)

3-2-3 進級要件

●正科生（1年次入学）

正科生（1年次入学）は以下に定められているとおり、必修および選択科目を合わせて、所定の単位以上を修得しなければ進級できません。

<進級要件単位>

科目区分	3年次への進級要件		4年次への進級要件	
	一般教育科目	必修科目	6単位以上	必修科目
小計		22単位以上	小計	28単位以上
専門教育科目	必修科目	10単位以上	必修科目	16単位以上
	小計	38単位以上	小計	64単位以上
合計	60単位以上		92単位以上	

●正科生（3年次編入学）

正科生（3年次編入学）は進級要件はありません。ただし、履修条件のある科目に注意して計画的に履修し、卒業要件を満たしてください。

3-2-4 卒業要件

正科生（1年次入学・3年次編入学）は以下に定められているとおり、必修、選択必修および自由選択科目を合わせて、所定の単位以上を修得しなければ卒業できません。

●正科生（1年次入学）

<卒業要件単位>

科目区分			卒業要件単位				備考
			必修	選択必修	自由選択	小計	
一般教育科目	教養科目群	人文	2	2	6	32単位以上	卒業要件単位数の124単位中、30単位以上はスクーリング科目（メディア授業を含む）で満たさなければならぬ。
		自然科学	0	4			
		社会	0	4			
	スポーツ科目群		0	2			
	情報処理科目群		4	0			
	外国語科目群		6	2			
専門教育科目	心理・コミュニケーション科目群		10	4	54	92単位以上	
	経営科目群		4	8			
	教育科目群		2	10			
	演習科目		0	0			
合計			28単位	36単位	60単位	124単位	

●正科生（3年次編入学）

<卒業要件単位>

科目区分		卒業要件単位				備考
		必修	選択必修	自由選択	小計	
一般教育科目(認定単位)		(32)			32単位	・認定単位数を含む。 ・卒業要件単位数の124単位中、認定単位*を含む30単位以上はスクーリング科目(メディア授業を含む)で満たさなければならない。
専門教育科目	心理・コミュニケーション科目群	10	4	26	92単位以上	
	経営科目群	4	8			
	教育科目群	2	10			
	(認定単位)	(28)				
合計		-			124単位	

*通学課程で修得した単位は30単位を上限としてスクーリング科目による単位として認定されるが、通信教育課程で修得した単位は入学資格を証明する書類により授業形態を確認し、個別に認定する。

4. 資格に関する事項

各資格・免許等の取得を希望する場合は、下記の諸条件および修得に必要な開講科目を確認してください。

<通信教育課程で取得できる資格・免許>

所属 資格・免許の名称	こども心理学部					モチベーション行動科学部	
	正科生 (1年次入学)	正科生 (3年次編入学)				正科生 (1年次入学)	正科生 (3年次編入学)
		認定心理士	幼稚園教諭 一種免許	小学校教諭 一種免許	生涯学習		
認定心理士	○	○	×	×	×	○	○
幼稚園教諭一種免許状	○	×	○	×	×	×	×
小学校教諭一種免許状	○	×	×	○	×	×	×
社会福祉主事任用資格	○	○	○	○	○	○	○
児童福祉司任用資格	○	○	○	○	○	×	×
児童指導員任用資格	○	○	○	○	○	×	×
「公認モチベーション・マネジャー」 Basic資格	×	×	×	×	×	○	○

4-1 認定心理士【対象：こども心理学部・モチベーション行動科学部】

認定心理士とは、「公益社団法人日本心理学会」が認定する心理学の基礎資格で、大学で心理学に関する標準的な基礎知識と基礎技術を修得していることを認定する資格です。

通信教育課程において所定の科目を全て修得し、卒業後、公益社団法人日本心理学会に申請することにより認定心理士資格を取得することができます。

◆認定心理士資格取得に必要な授業科目◆

本学において認定心理士資格取得に必要な最低修得単位数は、以下の項目に従います。

- ・ a～cの3領域のうち、各領域でそれぞれ4単位以上かつ小計12単位以上
- ・ d～hの5領域のうち、3領域各4単位以上を含む、小計16単位以上
- ・ 各領域のうち、少なくとも2単位は「副次主題」以外に属する単位とする
- ・ これらの領域全体で合計36単位。ただし i 領域からは、4単位まで充当可

具体的な読替表および単位数は次頁の表を参照してください。

認定心理士資格((公社)日本心理学会認定資格)に係る科目読替表

●こども心理学部

認定心理士認定資格細則別表による領域及び単位数			左記に対応する本学における開講科目			
領域	単位数	科目	単位数			
			T	S		
a	心理学概論	心理学概論(こころの形成)	②			
		心理学概論(こころの理解)	②			
		子どもの心理学(総論)	((2))			
b	心理学研究法	心理学研究法Ⅰ		②		
		心理学研究法Ⅱ		2		
		心理統計法Ⅰ		②		
		心理統計法Ⅱ		2		
c	心理学実験実習	心理学基礎実験		②		
		心理・教育アセスメントⅠ		②		
d	知覚心理学 学習心理学	認知心理学	2			
		感情心理学	2			
		言語心理学	2			
e	生理心理学 比較心理学	発達生理心理学Ⅰ	2			
		発達生理心理学Ⅱ	2			
		比較行動学	2			
f	教育心理学 発達心理学	教育心理学	②			
		乳幼児心理学	②			
		発達心理学	2			
		青年心理学	2			
		親子関係の心理学	(2)			
g	臨床心理学 人格心理学	発達の課題と障害	2			
		子ども臨床心理学	②			
		カウンセリング論	②			
		産業カウンセリング		2		
		ストレスマネジメント論	2			
		心理療法基礎		2		
		心理療法上級		2		
		心理・教育アセスメントⅡ		(2)		
		パーソナリティ心理学	2			
		精神保健学	(2)			
		発達障害学	2			
		心身医学	(2)			
		少年非行の心理学	2			
		犯罪の心理学	2			
		学校教育カンファレンス		(2)		
		子育てカンファレンス		(2)		
		h	社会心理学 産業心理学	集団の心理学	2	
				社会的認知		2
				対人コミュニケーション論	2	
				対人コミュニケーションスキル		2
家族の心理学	2					
i	その他の科目	文化心理学	2			
		こども心理学演習		2		
		卒業研究・卒業論文		4		

36単位
以上

3領域各4単位以上を
含む16単位以上※

(注)・()は「副次主題」のため認定心理士資格要件上、修得単位数は1単位の換算になることを示します。

・②は、本学において認定心理士資格を取得するために必須としている科目です。

・各学生形態によって、開講科目が異なります。カリキュラム表を確認してください。

※各領域4単位中2単位以上は「副次主題」以外に属する単位としてください。残余の単位は「副次主題」に属する単位でもかまいません。

※上表は、2019年度の状況であり、担当教員や講義概要の変更などにより単位の取扱いが変更される場合があります。

※網掛けの科目:スクーリング科目(メディア授業)

●モチベーション行動科学部

認定心理士認定資格細則別表による領域及び単位数			左記に対応する本学における開講科目		
領域	単位数		科目	単位数	
				T	S
a	心理学概論	4単位以上	心理学概論	②	
			教育心理学（モチベーション）	②	
b	心理学研究法	小計8単位以上 (C領域は必ず4単位以上)	心理学研究法		②
			心理学統計法		②
			心理調査概論		(2)
			心理学実験		②
c	心理学実験実習		心理的アセスメント		②
d	知覚心理学 学習心理学		認知心理学	2	
			感情心理学	2	
			学習・言語心理学	2	
e	生理心理学 比較心理学		—	—	
f	教育心理学 発達心理学		家族の心理学	2	
			発達心理学（モチベーション）	2	
			エイジングの心理学	2	
g	臨床心理学 人格心理学	3領域各4単位以上を 含む16単位以上※	パーソナリティ心理学	2	
			臨床心理学概論	2	
			カウンセリング論	2	
			産業カウンセリング		2
			ストレスマネジメント論	2	
			心理療法		2
			心理演習		2
			福祉心理学	2	
			産業・組織心理学	2	
			リーダーシップ論	2	
h	社会心理学 産業心理学		モチベーション論Ⅰ	②	
			モチベーション論Ⅱ	②	
			社会心理学	2	
			グループ・ダイナミックス	2	
			コミュニケーションの心理学	2	
			コミュニケーション・スキル		2
			ポジティブ心理学	2	
			演習Ⅰ		2
			演習Ⅱ		2
			卒業研究		4
i	その他の科目	「演習科目」からは、心理学 に関連したテーマに限り、 最大4単位まで認める			

(注)・()は「副次主題」のため認定心理士資格要件上、修得単位数は1単位の換算になることを示します。

- ・②は、本学において認定心理士資格を取得するために必須としている科目です。
- ・各学生形態によって、開講科目が異なります。カリキュラム表を確認してください。

※各領域4単位中2単位以上は「副次主題」以外に属する単位としてください。残余の単位は「副次主題」に属する単位でもかまいません。

※上表は、2019年度の状況であり、担当教員や講義概要の変更などにより単位の取扱いが変更される場合があります。

※網掛けの科目:スクーリング科目(メディア授業)

4-2 幼稚園教諭一種免許 [対象：こども心理学部]

幼稚園教諭免許とは、幼稚園に就業するために必要な教育職員免許法に基づく免許状です。幼稚園教諭一種免許状を取得するためには、4年制大学を卒業することが基礎資格となっており、これに加え、本学において幼稚園教諭に必要な所定の科目の単位をすべて修得する必要があります。

◆幼稚園教諭一種免許取得に必要な科目◆

本学において幼稚園教諭一種免許状取得に必要な単位数は、教育職員免許法に基づき「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」「教科及び教職に関する科目」のそれぞれに対応する科目を定めています。

詳細は、以下の表を参照してください。

幼稚園教諭一種免許課程に係る科目読替表

■教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する本学における開講科目				
科目	単位数	科目名	授業方法	単位数	本学カリキュラム	備考
日本国憲法	2	日本国憲法	T	2	○	
体育	2	体育実技 A	S	1	△	体育実技 A または体育実技 B いずれか一方を含む 2 単位以上
		体育実技 B	S	1	△	
		レクリエーション論	S	2	△	
		健康科学論	T	2	△	
外国語コミュニケーション	2	英語 I	T	2	△	
		英語 II	T	2	△	
		英語コミュニケーション I	S	2	△	
		英語コミュニケーション II	S	2	△	
		リスニング	S	2	△	
情報機器の操作	2	情報処理基礎 I (機器操作を含む)	S	2	○	

■教科及び教職に関する科目

科目区分	各科目に含めること が必要な事項	単位数	科目名	授業方法	単位数	本学カリキュラム	実習要件	備考欄
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に 専門的に 関する	16	健康	T	2	○	3 科目 6 単位 以上	
			人間関係	T	2	○		
			環境	T	2	○		
			言葉	T	2	○		
			表現	T	2	○		
	保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用 を含む。)		保育内容総論 (保育指導法)	T	2	○	3 科目 6 単位 以上	
			健康指導法	TS	2	○		
			人間関係指導法	TS	2	○		
			環境指導法	TS	2	○		
			言葉指導法	TS	2	○		
			音楽表現指導法	TS	2	○		
			造形表現指導法	TS	2	○		

科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	科目名	授業方法	単位数	本学カリキュラム	実習要件	備考欄
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育学概論	T	2	○	○	要2科目履修
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	T	2	○	○	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		比較教育制度論	T	2	○		
			学校安全	T	2	○		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	T	2	○	○	
			発達心理学	T	2	○		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		乳幼児心理学	T	2	○		
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		特別支援教育	T	2	○		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	教育の方法と技術	T	2	○		
	幼児理解の理論及び方法		幼児理解と保育相談	T	2	○		
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法							
教育実践に関する科目	教育実習	7	教育実習指導（事前・事後）（幼）	S	1	○	事前のみ	
			教育実習Ⅰ（幼）	S	2	○		
			教育実習Ⅱ（幼）	S	2	○		
	教職実践演習		S	2	○			
大学が独自に設定する科目		14	心理学概論（こころの形成）	T	2	△	※左記に掲げる科目のほか、最低修得単位を超えて修得した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の単位をあてることができる。	
			心理学概論（こころの理解）	T	2	△		
			子ども臨床心理学	T	2	△		
			子どもの心理学（総論）	T	2	△		
			道徳教育	T	2	△		
			子ども家庭福祉	T	2	△		

【実習要件について】

教育実習Ⅰ・Ⅱを受講するためには、実習実施予定の前学期末までに、教育実習要件科目○（4科目）及び「領域に関する専門的事項」から3科目6単位以上、「保育内容の指導法」から3科目6単位以上を修得していることと、教育実習指導（事前・事後）の事前指導を受講していることが必要です。

※授業方法については「T：テキスト科目／S：スクーリング科目／TS：テキストスクーリング科目」

※スクーリング科目の日程は、別紙「スクーリング科目開講予定表」よりご確認ください。

※○：必修／△：選択必修

4-3 小学校教諭一種免許 [対象：こども心理学部]

小学校教諭免許とは、小学校に就業するために必要な教育職員免許法に基づく免許状です。小学校教諭一種免許状を取得するためには、4年制大学を卒業することが基礎資格となっており、これに加え、本学において小学校教諭に必要な所定の科目の単位をすべて修得する必要があります。

◆小学校教諭一種免許取得に必要な科目◆

本学において小学校教諭一種免許状取得に必要な単位数は、教育職員免許法に基づき「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」「教科及び教職に関する科目」のそれぞれに対応する科目を定めています。

詳細は、以下の表を参照してください。

小学校教諭一種免許課程に係る科目読替表

■教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数		左記に対応する本学における開講科目				
科目	単位数	科目名	授業方法	単位数	本学カリキュラム	備考
日本国憲法	2	日本国憲法	T	2	○	
体育	2	体育実技 A	S	1	△	体育実技 A または体育実技 B いずれか一方を含む 2 単位以上
		体育実技 B	S	1	△	
		レクリエーション論	S	2	△	
		健康科学論	T	2	△	
外国語コミュニケーション	2	英語 I	T	2	△	
		英語 II	T	2	△	
		英語コミュニケーション I	S	2	△	
		英語コミュニケーション II	S	2	△	
		リスニング	S	2	△	
情報機器の操作	2	情報処理基礎 I (機器操作を含む)	S	2	○	

■教科及び教職に関する科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数			左記に対応する本学における開講科目						
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	科目名	授業方法	単位数	本学カリキュラム	実習要件	備考欄	
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	30	国語(書写を含む。)	国語	T	2	5 科目 10 単位以上	4 科目 8 単位以上	
			社会	社会	T	2			
			算数	算数	T	2			
			理科	理科	T	2			
			生活	生活	T	2			
			図画工作	子ども美術	T	2			
			家庭	家庭	T	2			
			体育	子ども体育	T	2			
			外国語	初等英語	T	2			
			音楽	子ども音楽	T	2			
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)	30	30	初等国語科教育法	T or TS	2	○	※ 4 科目 8 単位以上	※ 各教科の指導法は、テキスト科目(T)又はテキストスクーリング科目(TS)のいずれかが選択できる。ただし、実習要件の4科目8単位以上は、TS科目で単位修得するよう努めること。
				初等社会科教育法	T or TS	2	○		
				初等算数科教育法	T or TS	2	○		
				初等理科教育法	T or TS	2	○		
				初等生活科教育法	T or TS	2	○		
				初等音楽科教育法	T or TS	2	○		
				初等図画工作科教育法	T or TS	2	○		
				初等家庭科教育法	T or TS	2	○		
				初等体育科教育法	T or TS	2	○		
				初等英語教育法	T or TS	2	○		

免許法施行規則に定める科目及び単位数			左記に対応する本学における開講科目					
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	単位数	科目名	授業方法	単位数	本学カリキュラム	実習要件	備考欄
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育学概論	T	2	○	○	要2科目履修
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職論	T	2	○		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		比較教育制度論	T	2	○		
			学校安全	T	2	○		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	T	2	○		
			発達心理学	T	2	△		
			乳幼児心理学	T	2	△		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	T	2	○		
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	子ども教育課程論	T	2	○				
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育	T	2	○	○	
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の指導法	T	2	○		
	特別活動の指導法		特別活動	T	2	○		
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)		教育の方法と技術	T	2	○		
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導	T	2	○	○	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法							
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談	T	2	○		
教育実践に関する科目	教育実習	7	教育実習指導(事前・事後)(小)	S	1	○	事前のみ	
			教育実習Ⅰ(小)	S	2	○		
			教育実習Ⅱ(小)	S	2	○		
	教職実践演習		S	2	○			
大学が独自に設定する科目		2	心理学概論(こころの形成)	T	2	△	※左記に掲げる科目のほか、最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の単位をあてることができる。	
			心理学概論(こころの理解)	T	2	△		
			子ども臨床心理学	T	2	△		
			子どもの心理学(総論)	T	2	△		
			子ども家庭福祉	T	2	△		

【実習要件について】

教育実習Ⅰ・Ⅱを受講するためには、実習実施予定の前学期末までに、教育実習要件科目○(3科目)及び「教科に関する専門的事項」から4科目8単位以上、「各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む)」から4科目8単位以上を修得していることと、教育実習指導(事前・事後)の事前指導を受講していることが必要です。

【介護等体験について】

教育実習とは別に、7日間の介護等体験が必要です。

※授業方法については「T:テキスト科目/S:スクーリング科目/TS:テキストスクーリング科目」

※スクーリング科目の日程は、別紙「スクーリング科目開講予定表」よりご確認ください。

※○:必修/△:選択必修

教育実習（「※介護等体験」）について

教育実習は教育職員免許法施行規則第6条の規定に基づき、教職を希望する方が学校教育の場において大学で学んだ知識や理論を生かして、実践的な知識・技能・姿勢等を培うための必修科目です。

(1) 単位及び期間

教員免許状における必要単位と教育実習期間は次の通りです。

校種	必要単位数	内容	教育実習期間
幼稚園一種	5単位	教育実習指導(事前・事後)1単位(3~4年次)	4週間(20日間)
小学校一種		教育実習4単位(4年次)	

(2) 教育実習指導（事前・事後）

教育実習を行う実践的な力を育むために、「教育実習指導（事前）」を3年次から受講します。4年次に教育実習を実施した後に、「教育実習指導（事後）」を履修し、2年にわたる一連の履修をもって単位が修得できます。

3年次	4年次
教育実習指導（事前）⇒	教育実習（4週間）⇒教育実習指導（事後）

「教育実習指導（事前・事後）」の単位は、4年次に事後指導を受けた後に認定されます。

(3) 教育実習の受講要件

「教育実習」を受講するためには、教職や教職に関連する職種に就くことを希望していることと、教育実習実施前学期までに、本学が定める以下の受講要件を満たす必要があります。

①幼稚園教育実習

正科生（1年次入学）については次のとおりです。

- (A) 教育実習実施前学期までに一般教育科目28単位以上（うち必修科目12単位以上）、専門教育科目64単位以上（うち必修科目16単位以上）の合計92単位以上を修得し、4年次への進級要件を満たすこと。
- (B) 上記科目に「教職論」「教育学概論」「教育心理学」「子ども教育課程論」「保育内容総論（保育指導法）、健康指導法、人間関係指導法、環境指導法、言葉指導法、造形表現指導法、音楽表現指導法のうち3科目6単位以上」「健康、人間関係、環境、言葉、表現のうち3科目6単位以上」を含むこと。
- (C) 教育実習実施前学期までに教育実習指導（事前）①②③を受講すること。

正科生（3年次編入学）は次のとおりです。

- (A) 教育実習実施前学期までに、「教職論」「教育学概論」「教育心理学」「子ども教育課程論」「保育内容総論（保育指導法）、健康指導法、人間関係指導法、

環境指導法、言葉指導法、造形表現指導法、音楽表現指導法のうち3科目6単位以上」「健康、人間関係、環境、言葉、表現のうち3科目6単位以上」を修得していること。

(B) 教育実習実施前学期までに教育実習指導（事前）①②③を受講すること。

②小学校教育実習

正科生（1年次入学）については次のとおりです。

(A) 教育実習実施前学期までに一般教育科目28単位以上（うち必修科目12単位以上）、専門教育科目64単位以上（うち必修科目16単位以上）の合計92単位以上を修得し、4年次への進級要件を満たすこと。

(B) 上記科目に「教育学概論」「初等国語科教育法、初等社会科教育法、初等算数科教育法、初等理科教育法、初等生活科教育法、初等音楽科教育法、初等図画工作科教育法、初等家庭科教育法、初等体育科教育法、初等英語教育法のうちテキストスクーリング科目を4科目8単位以上」「道德教育」「生徒・進路指導」「国語、社会、算数、理科、生活、子ども美術、家庭、子ども体育、子ども音楽、初等英語のうち4科目8単位以上」を含むこと。

(C) 教育実習実施前学期までに教育実習指導（事前）①②③を受講すること。

正科生（3年次編入学）は次のとおりです。

(A) 教育実習実施前学期までに、「教育学概論」「初等国語科教育法、初等社会科教育法、初等算数科教育法、初等理科教育法、初等生活科教育法、初等音楽科教育法、初等図画工作科教育法、初等家庭科教育法、初等体育科教育法、初等英語教育法のうちテキストスクーリング科目を4科目8単位以上」「道德教育」「生徒・進路指導」「国語、社会、算数、理科、生活、子ども美術、家庭、子ども体育、子ども音楽、初等英語のうち4科目8単位以上」を含むこと。

(B) 教育実習実施前学期までに教育実習指導（事前）①②③を受講すること。

(4) 教育実習の実施方法

教育実習は、一部の特別地域を除き、自身で教育実習実施の約1年前までに希望する小学校・幼稚園に出向いて交渉し、受け入れの内諾を得る必要があります。教育実習の実施は、実習校・園・教育委員会の協力により成立しますので、余裕をもった対応を心がけてください。また、教育実習受入校・園に迷惑をかけないためにも、教育実習の受講要件を必ず満たせるよう学習計画を綿密に立てることが大切です。

(5) 教育実習校・園の選定について

①各自で教育実習校・園を自己開拓し、確保することになります。開拓の時期は、正科生(1年次入学／3年次編入学)ともに3年次前期以降(教育実習実施1年前)と

なります。

- ②一部地域の公立学校・園では、管轄教育委員会に特別な教育実習申請手続きが必要となります。教育委員会が実習先を割り当てる自治体の場合は自己開拓ができませんので、各自で実習を希望する自治体の申請手続き方法を確認しておいてください。
- ③現在の勤務校・園又は過去5年以内に勤務していた学校・園（教諭、講師、TT、介助員、事務職、栄養士職、用務職、アルバイト、有償ボランティア等も含まれる）での教育実習は姉妹校・園を含め、認められません。
- ④親族（6親等以内）が勤務・在籍・経営している学校・園、自身の子どもが在籍している学校・園での教育実習は認められません。
- ⑤友人または知人が経営・勤務している学校・園など、成績判定に支障をきたす要因が考えられる実習先は認められません。
- ⑥過去5年以内にPTA役員として、または後援会員や学校運営協議会委員として関わったことがある学校・園での教育実習は認められません。
- ⑦学校全体として5学級以下の小学校・2学級以下の幼稚園では、実習生の存在が通常の教育活動に大きな影響を与えると考え認められません。但し、受け入れ先の学校・園側に支障がないとの承認があれば、例外として実習を許可する場合があります。
- ⑧文科省から認可を受けていない学校・園での教育実習は認められません。

- (6) 「教員免許取得希望申込書」および「教育実習希望申請書」の提出について
- 正科生（1年次入学生）は、2年次後期の修了時（3年次進級時）に「教員免許取得希望申込書」を指定期日までに提出しなければなりません。
- また、正科生（1年次入学/3年次編入学ともに）は、3年次前期に「教育実習希望申請書」を提出するとともに、実習先を自己開拓し、仮内諾を得られた場合は、「教育実習打診結果の報告書」に実習希望校・園名等を記入し提出することになります。なお、この後の詳細については、3年次の初めにCoLSから配信される資料を確認してください。

◆「※介護等体験」について◆

小学校教諭一種免許を取得するためには、教育職員免許法の特例等に関する法律等で定める「介護等体験」を行うことが必要です。教育実習とは別に7日間の「介護等体験」を実施します（社会福祉施設等に5日間、特別支援学校に2日間が望まれます）。

※県によって社会福祉施設等に7日間の場合もあります。

「介護等体験」は3年次もしくは4年次で実施します。介護等体験実施前までに、介護等体験事前指導（メディア授業）を受講していることが条件となります。大学を通して各都道府県の社会福祉協議会・教育委員会に依頼をしますので、場所や日程の指定はできません。また、年度でのお申し込みとなり、決定した場所や日程の変更も原則できません。

随時CoLSから配信されるお知らせを確認し、指示に従い体験を実施してください。

4-4 社会福祉主事任用資格

【対象：こども心理学部・モチベーション行動科学部】

社会福祉主事とは、社会福祉法第19条に定められている任用資格です。自治体の社会福祉施設や福祉事務所などにおいて、利用者の相談に応じて、医療機関等と連携しながら必要な援助を行います。

本学通信教育課程では、正科生として所定の科目の単位を修得し卒業すると、社会福祉主事任用資格が得られます。その後、公務員試験に合格し、福祉職として任用されることで、社会福祉主事として働くことができます。

(参考) 社会福祉法第19条

第十九条 社会福祉主事は、都道府県知事又は市町村長の補助機関である職員とし、年齢二十年以上の者であつて、人格が高潔で、思慮が円熟し、社会福祉の増進に熱意があり、かつ、次の各号のいずれかに該当するもののうちから任用しなければならない。

- 一 学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）に基づく大学、旧大学令（大正七年勅令第三百八十八号）に基づく大学、旧高等学校令（大正七年勅令第三百八十九号）に基づく高等学校又は旧専門学校令（明治三十六年勅令第六十一号）に基づく専門学校において、厚生労働大臣の指定する社会福祉に関する科目を修めて卒業した者
- 二 都道府県知事の指定する養成機関又は講習会の課程を修了した者
- 三 社会福祉士
- 四 厚生労働大臣の指定する社会福祉事業従事者試験に合格した者
- 五 前各号に掲げる者と同等以上の能力を有すると認められる者として厚生労働省令で定めるもの

社会福祉主事任用資格に係る科目読替表

●こども心理学部

省令に定める科目及び単位数		左記に対応する本学における開講科目		
科目	単位数	科目	単位数	
			T	S
社会福祉概論	3科目 6単位以上	社会福祉	2	
児童福祉論		子ども家庭福祉	2	
精神障害者保健福祉論		精神保健学	2	
法学		法律学	2	
経済学		経済学	2	
社会学		社会学	2	
教育学		教育学概論	2	
医学一般		心身医学	2	

●モチベーション行動科学部

省令に定める科目及び単位数		左記に対応する本学における開講科目		
科目	単位数	科目	単位数	
			T	S
社会福祉概論	3科目 6単位以上	社会福祉	2	
法学		法律学	2	
経済学		経済学	2	
心理学		心理学概論	2	
社会学		社会学	2	
教育学		教育学概論	2	

4-5 児童福祉司任用資格（※要実務経験）[対象：こども心理学部]

児童福祉司とは、児童福祉法第13条に定められている任用資格で、児童相談所などで主に児童の福祉に関わる相談業務や各種調査などの専門的業務を行います。

本学こども心理学部を卒業後、厚生労働省が定める施設において、児童その他の者の福祉に関する相談業務に1年以上従事することで、児童福祉司任用資格が得られます。その後、地方公務員試験に合格し児童相談所等に配属され、児童福祉司となります。

(参考) 児童福祉法第十三条

第十三条 都道府県は、その設置する児童相談所に、児童福祉司を置かなければならない。

2 児童福祉司の数は、政令で定める基準を標準として都道府県が定めるものとする。

3 児童福祉司は、都道府県知事の補助機関である職員とし、次の各号のいずれかに該当する者のうちから、任用しなければならない。

一 都道府県知事の指定する児童福祉司若しくは児童福祉施設の職員を養成する学校その他の施設を卒業し、又は都道府県知事の指定する講習会の課程を修了した者

二 学校教育法に基づく大学又は旧大学令に基づく大学において、心理学、教育学若しくは社会学を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者であつて、厚生労働省令で定める施設において一年以上児童その他の者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行う業務に従事したもの

三 医師

四 社会福祉士

五 社会福祉主事として二年以上児童福祉事業に従事した者であつて、厚生労働大臣が定める講習会の課程を修了したもの

六 前各号に掲げる者と同等以上の能力を有すると認められる者であつて、厚生労働省令で定めるもの

4-6 児童指導員任用資格【対象：こども心理学部】

児童指導員とは、児童福祉施設の設備及び運営に関する基準第43条に定められている任用資格です。家庭の事情や障害などを理由に児童福祉施設で生活する子どもたちの保護や生活・学習指導を行い、健全な成長を支援します。

本学こども心理学部を卒業することで、児童指導員任用資格が得られます。その後、公務員試験や各施設の採用試験に合格し配属されてはじめて、児童指導員となります。

(参考) 児童福祉施設の設備及び運営に関する基準第43条

第四十三条 児童指導員は、次の各号のいずれかに該当する者でなければならない。

- 一 都道府県知事の指定する児童福祉施設の職員を養成する学校その他の養成施設を卒業した者
- 二 社会福祉士の資格を有する者
- 三 精神保健福祉士の資格を有する者
- 四 学校教育法の規定による大学の学部で、社会福祉学、心理学、教育学若しくは社会学を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者
- 五 学校教育法の規定による大学の学部で、社会福祉学、心理学、教育学又は社会学に関する科目の単位を優秀な成績で修得したことにより、同法第一百零二条第二項の規定により大学院への入学を認められた者
- 六 学校教育法の規定による大学院において、社会福祉学、心理学、教育学若しくは社会学を専攻する研究科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者
- 七 外国の大学において、社会福祉学、心理学、教育学若しくは社会学を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者
- 八 学校教育法の規定による高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者、同法第九十条第二項の規定により大学への入学を認められた者若しくは通常の課程による十二年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）又は文部科学大臣がこれと同等以上の資格を有すると認定した者であつて、二年以上児童福祉事業に従事したもの
- 九 学校教育法の規定により、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校又は中等教育学校の教諭となる資格を有する者であつて、都道府県知事が適当と認めたもの
- 十 三年以上児童福祉事業に従事した者であつて、都道府県知事が適当と認めたもの

◆任用資格とは◆

行政分野において、特定の職業や職位に任用されるための資格です。該当する職種として配属されて初めて効力を持つ資格となります。一般的に任用資格には資格証明書や合格証などは存在せず、卒業証明書や成績証明書で証明がなされます。

4-7 「公認モチベーション・マネジャー」Basic資格

[対象：モチベーション行動科学部]

「公認モチベーション・マネジャー」Basic資格は、一般社団法人モチベーション・マネジメント協会から認定される資格です。

「公認モチベーション・マネジャー」は、Basic、Advanced、Professionalの3種の資格体系からなり、Basic資格では自己のモチベーションを中心にモチベーション全般に関連する理論・知識を学び、自己の仕事の意義付けや就職活動に対するモチベーションの維持などに役立てることが出来ます。

Basicの取得後は、一般社団法人モチベーション・マネジメント協会の講座を受講し、AdvancedやProfessionalの資格を目指すことも可能です。

- ◆ 「公認モチベーション・マネジャー」Basic資格を取得するには◆
以下6科目12単位を満たし取得できます。

科目	単位数	
	T	M
産業・組織心理学	2	
モチベーション論 I	2	
コミュニケーションの心理学	2	
モチベーション論 II	2	
ポジティブ心理学	2	
コーチング		2